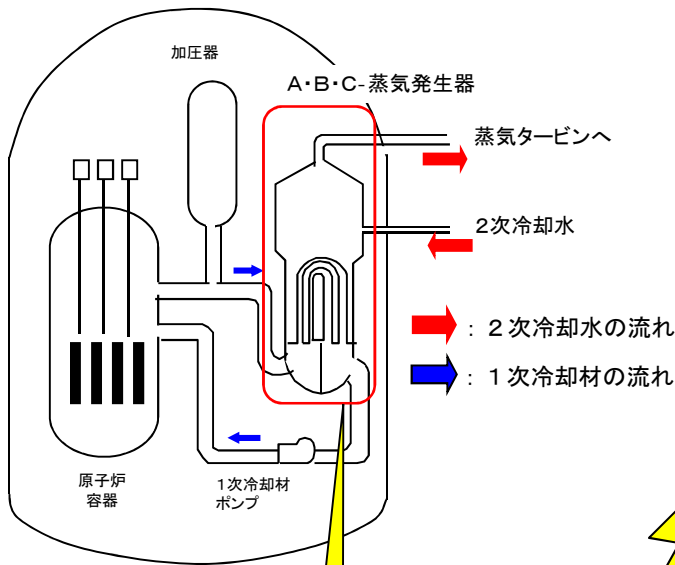
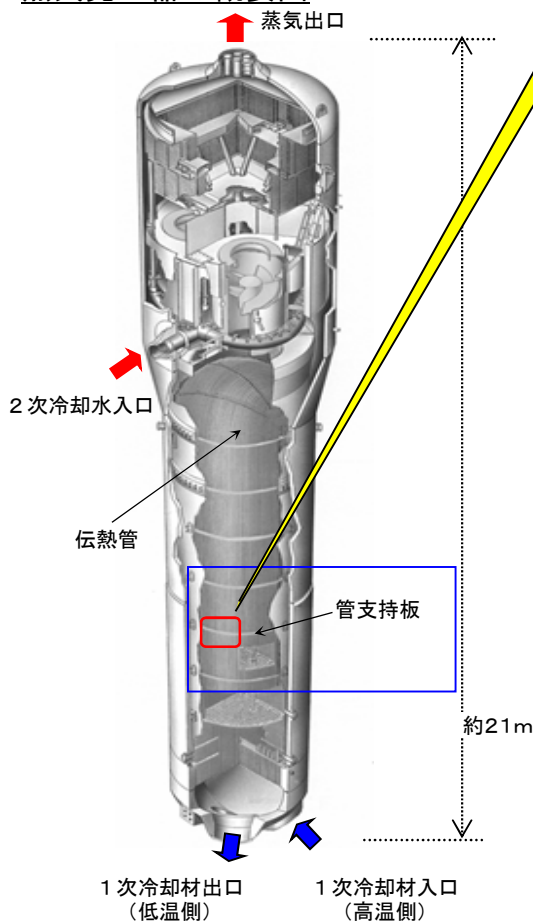


高浜発電所3号機の定期検査状況について (蒸気発生器伝熱管外面減肉信号の調査結果と対策)

系統概要図

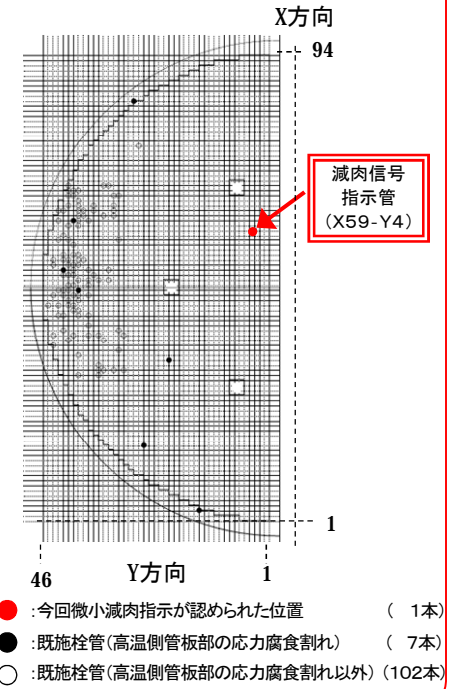


蒸気発生器の概要図

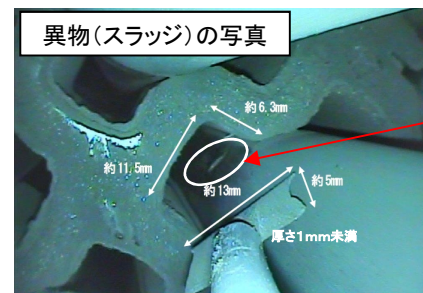
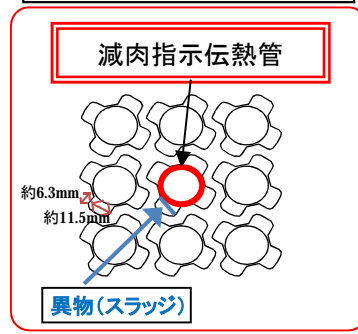


発生場所

A-蒸気発生器(低温側)上部より見た伝熱管位置を示す図



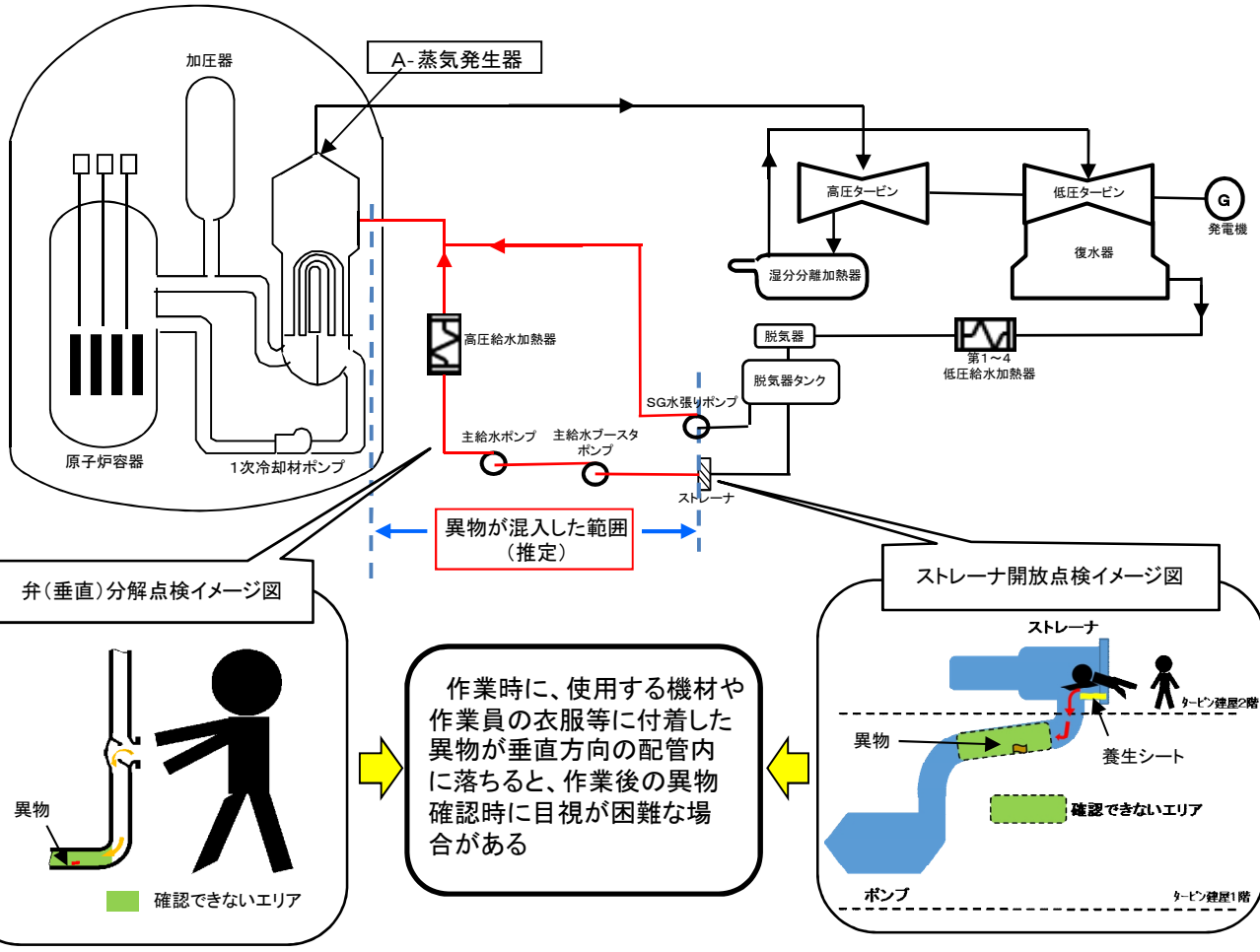
信号指示箇所拡大平面図



・取り出した異物(スラッジ)は、厚さ1mm未満の脆いものであり、伝熱管に減肉を生じさせることは考えられない。

外面減肉の要因となった異物混入の調査結果

伝熱管に外面減肉を生じさせた異物は、前回の定期検査(第22回)の作業で2次系に混入した後、蒸気発生器内に流入し、当該部に入り込んだ可能性が高いと考えられる。



対策

- (1) 微小な減肉が認められたA-SGの伝熱管について、高温側および低温側管板部で閉止栓(機械式栓)を施工し、使用しないこととします。
- (2) 弁やストレーナの分解点検時に使用する機材や内部に立ち入る作業員の衣服等に異物の付着がないことを確認することについて作業手順書に追記して、異物混入防止の更なる徹底を図ります。

なお、今回の定期検査において、主給水系統のうち主給水ブースタポンプ入口のストレーナからSGまでの範囲で弁等の分解点検を実施した箇所について内部点検を行い、目視確認が困難である範囲についてはファイバースコープにより、異物がないことを確認しました。